

県中教研 15 部会の重点方針

	重点方針
国語	<p>言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育てるために、話す・聞く、書く、読む力を育み、学ぶ意欲をもって学習する国語の学習指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学び合う言語活動を通して、考えを広げたり深めたりし、思考力や想像力を育てる。 ○考えを明確にし、構成を考えて文章を書く力を育てる。 ○話の内容や意図に応じた表現力を育てる。 ○目的に応じて主体的に文章を読み、内容を的確に読み取る力を育てる。
社会	<p>自ら考え自ら学び、確かな学力を育てる社会科の学習指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学ぶ意欲を高めるために、主体的な学習を促す魅力ある「教材開発」や「単元構成の工夫」を行う。 ○学び合い深め合う学習を実現するために、適切な課題を設けて行う学習の充実を図り、小集団学習や話し合い活動を取り入れた「学習過程の改善」を行う。 ○資料を選択し活用して、自分の考えを記述・発表する力を育てる。
数学	<p>数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能の確かな習得を図るとともに、数学的な見方や考え方のよさを実感できるようにし、それらを活用して課題解決に主体的に取り組める学習指導の展開に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の習熟を図るとともに、それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力を育成する。 ○生徒の認識とのずれや適度な困難度がある課題で学び合う学習を計画的に実施する。 ○生徒自らが学習の振り返りができるよう、学び直しの機会を設ける。
理科	<p>目的意識をもって科学的に自然を調べる能力と科学的な思考力を育てる学習活動の展開に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察や実験の予想を検討したり、結果を整理し考察・吟味する学習活動の充実を図ることを通して、目的意識に裏打ちされた科学的な思考力、表現力を高める。 ○他者との関わりや問題解決的な活動を展開することを通して、科学的な見方・考え方を育てる。 ○地域の環境や学校の実態を生かした自然体験、科学的な体験を通じた実感を重視し、自然事象の認識と科学への興味、関心を一層高める。
音楽	<p>生涯にわたって音楽に親しむ生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽のよさを感じ、伝え、関わり合いながら学び、考える授業を展開する。 ○音楽を形づくっている要素を支えとして、思いや意図をもって表現する生徒を育てる。
美術	<p>生涯にわたり、美術を生活に取り入れれたり、楽しんだりする生徒の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に関わる「人・もの・こと・自然」を活用した授業を取り入れる。 ○対話のある授業によって、思考を働かせ、発想力が高まったり、お互いの考えを認め合ったりする生徒を育てる。
保健体育	<p>運動や健康・安全についての理解を深め、体力の向上と健康の保持増進のための実践力を身に付けるとともに、各種運動の合理的な実践をとおし、生涯にわたって運動に親しむ資質と能力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態把握を的確に行う。 ○学習過程を工夫する。 ○学習資料提示の仕方を工夫する。 ○評価方法の工夫・改善を図り、指導に生かす。 ○運動を通して公正さや協力する態度を育てる。
技術・家庭	<p>実践的・体験的な学習活動を通して基礎的・基本的な知識及び技術を身に付けるとともに、学習したことを生かして、よりよい生活、社会を目指そうとする能力と態度の育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活実態や社会状況を適切に把握し、学習意欲を高め、生活との関連を重視した指導計画や教材開発に努める。 ○学習結果や技術と家庭や社会との望ましい関係等について、自分の考えを発表したり、話し合ったりする活動場面を設定する。

	重点方針
英語	<p>基礎・基本の確かな定着を図るとともに、コミュニケーション能力の基礎を培う学習指導を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4領域のバランスのとれた指導に努め、まとまりのある英語を理解したり、表現したりする活動を進める。 ○語彙や文構造については、コミュニケーションを支えるものとしての視点から言語活動を関連させながら定着を図る。 ○身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動の実践に努める。 ○小学校の外国語活動に関する小中の連携を深め、小学校における活動内容について情報交換するなど、中学校区ごとに研修を進める。
道徳	<p>道徳的諸価値についての理解と自覚を深める手立てを講じ、よりよい生き方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「考え、議論する道徳」に向けて求められる質の高い多様な指導方法を展開し、量的確保と質的転換を図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。①登場人物への自我関与が中心の学習、②問題解決的な学習、③道徳的行為に関する体験的な学習等のそれぞれの要素を組み合わせた指導も可とする。 ○ファシリテーション等で多面的・多角的に考えを拡散し、フレームワーク(思考ツール)で生徒の考えを可視化(構造化)し、道徳的価値の理解や自覚を深め、納得解・最適解を得る手立てを講じる。 ○自分や学びにじっくりと向き合い、自覚を深め、よりよい生き方を考えて道徳性を養う。
特別活動	<p>望ましい人間関係を築き、集団や社会の一員として、よりよい集団生活を実現する生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校における集団活動や体験的な活動の一層の充実を図る。 ○自分の考えを発表したり、他と交流したりしながら、考えを広げたり、深めたりする場を設定する。
生徒指導	<p>いじめや問題行動、不登校の未然防止と早期発見・早期対応に努めるため、組織的・計画的な生徒指導を推進する。その際、対応のみに終始することなく、自他の個性を尊重し、生徒が互いに認め合い、協力し合うよりよい人間関係の構築を目指し、生徒の自己指導能力と社会性の育成を基盤とした生徒指導に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめは対人関係における問題との視点に立ち、全教育活動を通じて人権感覚を養うとともに、生徒主体の社会性育成活動を実施し、明確な指導方針のもとに組織的な取組を進める。 ○すべての生徒にとって居心地のよい学校を目指し、将来の社会的自立に向けた生き方支援に努める。特に生命や性、携帯電話等に関わる今日的な問題については、家庭や地域、関係機関とも連携した粘り強い取組を進める。 ○中学校区の小学校及び関係機関との情報交換や行動連携に努め、自然体験や社会奉仕体験、職業体験などによる地域社会との関わりを通して、自律性や主体性を育む。
進路指導	<p>自らの生き方を考え、夢や希望をもって主体的に進路を選択できる生徒を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己理解を深める指導を充実させる。 ○生徒一人一人の将来に対する目的意識を高め、自己実現を図ろうとする態度を育てる。 ○勤労観・職業観を育むキャリア教育の充実を図る。
総合	<p>学習過程と評価を中核に、主体的・対話的で深い学びが実現できるような学習指導を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習過程において、「課題設定」を工夫し、「協働的な学習」と「言語活動」を適切に位置付けることを通して、探究的な学習の充実を図る。 ○「育てようとする資質や能力及び態度」の視点に配慮した評価の観点を定め、それに基づいて生徒の具体的な学習状況を想定した評価規準を設定し、学習評価の充実を図る。
学校保健	<p>生きる力を育む健康教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携・協働しながら組織的に取り組む健康教育活動を展開する。 ○生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援の在り方について研修を進める。